



18歳までの子どもがかける電話 **チャイルドライン**

記者会見(5/26・14時～@文科省記者会見室)

**電話に寄せられた77万件の子どもの声
そこから見える<子どもたちのいま>**

5月5日から全国フリーダイヤル・本格実施!

全国どこからでも 月曜日から土曜日まで 毎日16時～21時

全国共通番号 **0120 - 99 - 7777** (携帯・PHSからもOK)

これまでのチャイルドラインは、期間限定で全国からフリーダイヤルで電話を受けるキャンペーンを実施することもありましたが、日常的には各実施箇所電話番号や実施日時が異なっていました
2008年11月より全国フリーダイヤルの試行を実施したところ、11月以降電話件数が増加しています

全国のチャイルドラインの現状(2009年5月26日現在)

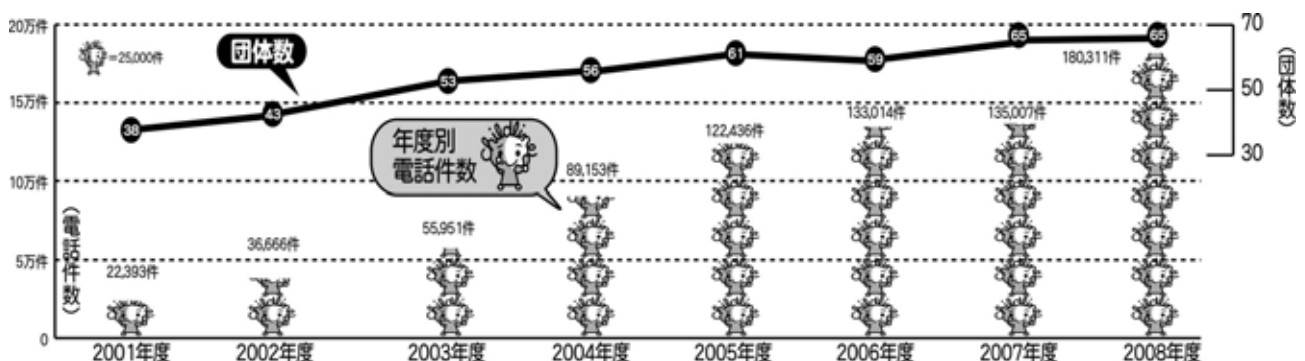
実施団体：36都道府県、65団体
開設準備中：青森県、群馬県、兵庫県、高知県、佐賀県
未設置県：岩手県、福島県、徳島県、香川県、大分県、鹿児島県
回線数：124回線(2007年度121回線) 2008年度
年間総実施時間数：46,522時間(2007年度46,197時間) 2008年度
年間着信数：180,311件(2007年度135,007件) 1日あたり494件 2008年度
 会話成立 = 約35% / 会話成立時の平均通話時間 = 12分52秒
 会話が成立しない・・・「すぐ切れた・無言」「一言・意味不明・お試し・いたずら」「問い合わせ・お礼」など
総通話時間：14,981時間(2007年度10,085時間) 2008年度
チャイルドラインに寄せられる子どものデータ 別紙

チャイルドライン10年のあゆみ

実施状況	1998年度	2008年度
実施団体	3団体	65団体へ
実施地域	3都県	36都道府県へ(6都県で6団体が準備中)
年間着信数	22,393件	180,311件へ
年間実施時間	のべ12,118時間	46,522時間へ

「年間着信数」「年間実施時間」は、データを取り始めた2001年4月との比較

データを取り始めた2001年4月から2009年3月末までで
累積774,931件の子どもの声を受け止めました





10周年イベント(5/31@東商ホール)、出版(岩波ブックレット)

*チャイルドライン支援センター設立10周年記念イベント

よみがえれ! 子ども力~記念講演 アグネスチャンさん~

日時 2009年5月31日(日)10:30~16:30

会場 東商ホール

プログラム(概要)

基調講演(10:30~11:45)「子どもを大切にする国、しない国」

講師:清川輝基(チャイルドライン支援センター代表理事)

10周年記念映像上映(11:45~12:00)

シンポジウム(13:00~15:10)

パネリスト 内田良子氏(心理カウンセラー) 坪井節子氏(弁護士)

山下英三郎氏(スクールソーシャルワーカー) 喜多明人氏(早稲田大学教授)

太田久美(チャイルドライン支援センター常務理事)

- ・パート1:各分野の方々から見える子どもの現状について
- ・子どもからのメッセージ
- ・パート2:チャイルドラインの課題とNEXT-10に向けて

記念講演(15:20~16:20)「小さな命からの伝言~子どもの笑顔に出会いたい~」

講師:アグネス・チャン氏(歌手、エッセイスト、教育学博士)

そのほか:

- ・「2009 夢メッセージ展」100名を超える著名人が子どもへの想いを「絵馬」に託して下さりました
- ・チャイルドライン10年のあゆみ・パネル展示
- ・チャイルドライン編『子どもの声に耳をすませば』(岩波ブックレット)、チャイルドラインキャラクターグッズ販売

*出版

岩波ブックレット・チャイルドライン支援センター編

『子どもの声に耳をすませば - 電話でつくる<心の居場所->』

大人、社会は子どもをどの育むべきか。チャイルドラインが受けとめてきた子どもたちの声から考えます。

出版 岩波書店(岩波ブックレット) 定価 504円(税込) 発売 2009年5月8日~

4月1日より「認定NPO法人」に

国税庁の認定により、2009年4月1日から認定特定非営利活動法人となりました。

約3.7万のNPO法人のうち、個人や法人が寄附した際に税制優遇措置を受けられる「認定NPO法人」は93法人のみです。



チャイルドラインに寄せられる子どものデータ

< 電話の内容について(2008年度) >

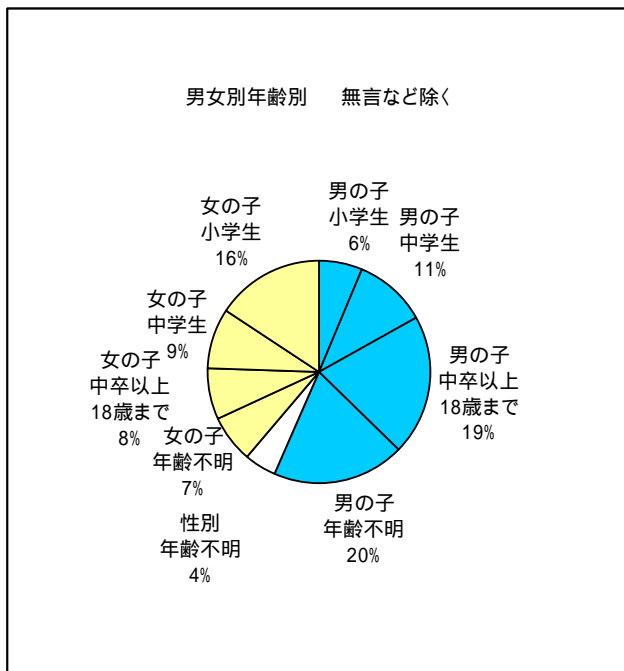
性別、年齢、電話の内容等のデータはチャイルドラインデータベースを用いて集計されたもので、データベースを活用しているのは65団体中63団体。全国すべてのチャイルドラインの総数ではありませんが、ほぼ全体の傾向を表しているものと推測されます。なお、年齢・電話の内容については2006年度以前のものとはデータの取り方に若干の違いがあります。

チャイルドラインデータベースに入力されている全体の電話 178,629 件のうち、「すぐ切れた・無言」が 78,743 件 44%、「一言・意味不明・お試し・いたずら」が 50,622 件 20%、「問い合わせ・お礼」が 1,312 件 1%で、実際に会話が成立した「それ以外の電話」は 63,306 件 35%でした。

かけてきた子どもの年齢

会話の成立した 63,306 件の中では、男子 35,914 件・56%、女子 24,660 件・40%、性別不明 4%でした。女子よりも男子の方が多く、年齢別では、男子では中学卒業以上 18 歳まで、女子では小学生の割合が多いのが特徴です。年齢別男女別の割合は図 1 のようになっています。

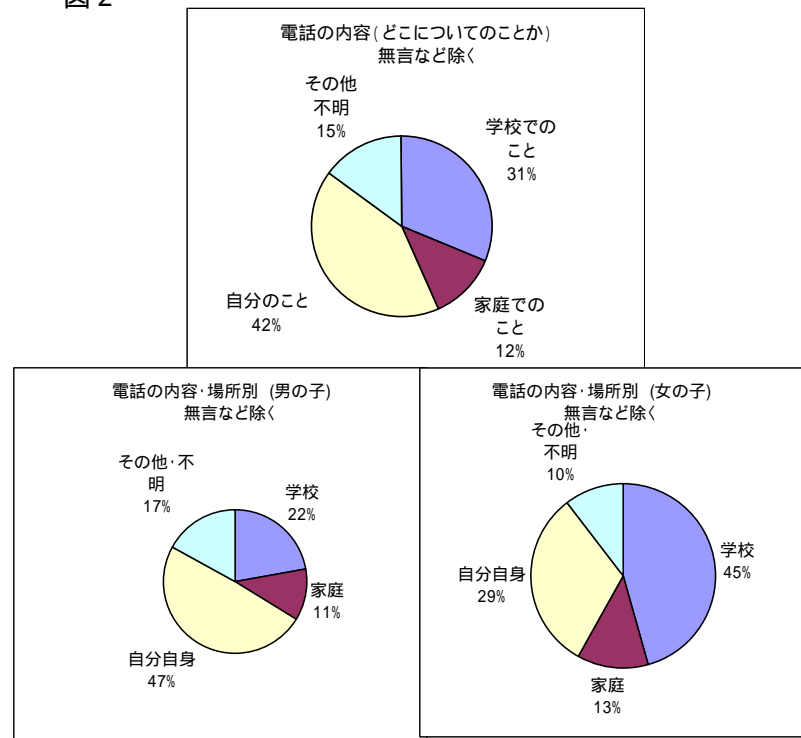
図 1



電話の内容(場面別)

会話の成立した 63,306 件で話された内容がどこで起こったものかについては、「学校でのこと」が 31%、「家庭でのこと」が 12%、「自分のこと」が 42%、「その他・不明」が 15%でした。

図 2



男女別の電話内容を、具体的に多い方から 5 項目をピックアップすると下記のようになっています。

内容別 無言など除く					
全体	%	男子	%	女子	%
性	19.4%	性	28.8%	人間関係	25.4%
人間関係	14.3%	雑談・話し相手	10.8%	雑談・話し相手	13.2%
雑談・話し相手	11.7%	セクステレフォン	8.0%	いじめ	11.9%
いじめ	8.6%	人間関係	7.0%	心の不安	9.2%
恋愛・異性関係	7.3%	恋愛・異性関係	6.9%	恋愛・異性関係	8.4%
その他	38.7%	その他	38.4%	その他	31.9%

